

世田谷区民意識調査 2024

(概要版)

区民意識調査概要版は、令和6年5月に実施した「世田谷区民意識調査2024」を要約したもので、広く区民の方にその内容を知っていただくために作成しました。

今回の調査は、「定住性」「職員応対」など経年的な変化を把握するための調査項目に加え、「広報」「災害時の備え」「ふるさと納税」などに関する項目を調査対象といたしました。

これらの調査結果については、区政を推進するための基礎資料として活用してまいります。

また、詳しく知りたい方は、世田谷区の区政情報センター、区政情報コーナー、区立図書館、区のホームページで「世田谷区民意識調査2024」をご覧ください。

(令和6年5月実施)

回答者の属性

- 1 定住性
- 2 区政
- 3 職員応対
- 4 広報
- 5 福祉と医療
- 6 子育て
- 7 災害時の備え
- 8 地域コミュニティ
- 9 文化活動
- 10 多文化共生
- 11 健康づくり
- 12 スポーツ
- 13 交通
- 14 みどり
- 15 ふるさと納税
- 16 せたがやPay

調査の概要

対象者 世田谷区在住の満18歳以上の男女
対象数 5,000人
(内訳/日本国籍4,842人、外国籍158人)
抽出方法 層化二段無作為抽出法
調査方法 郵送配布・回収またはインターネットによる回答
調査期間 令和6年5月15日～6月5日
有効回収数 2,404人
(内訳/日本国籍2,356人、外国籍48人)
有効回収率 48.1%
(内訳/郵送回収1,558通・64.8%、
インターネット回収846通・35.2%)

令和6年9月



今回の調査項目は次のとおりです。このうち★印のある項目をこの概要版に掲載しています。

1 定住性

- (1) 居住年数
- ★ (2) 暮らしの満足度
- ★ (3) 住みやすさ
- ★ (4) 定住意向
- (5) 定住意向理由
- (6) 非定住意向理由
- ★ (7) 地域における日常生活での困りごと

2 区政

- ★ (1) 区が積極的に取り組むべき事業

3 職員対応

- ★ (1) 窓口対応
- ★ (2) 印象が良かった点
- ★ (3) 印象が悪かった点
- ★ (4) 職員対応での注意点

4 広報

- ★ (1) 区の取り組みや身近な情報の入手経路
- (2) 発信してほしい区の取り組みや情報

5 福祉と医療

- ★ (1) 介護や医療必要時の居留意向
- (2) 「福祉の相談窓口」の認知度
- (3) 「在宅医療」の認知度
- ★ (4) 「ACP」（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）の認知度
- ★ (5) 身近な相談相手の有無
- (6) 日常生活の不安や悩みの有無
- (7) 行政機関や民間団体からの支援
- (8) 地域住民同士の支え合いについて
- ★ (9) 認知症についての印象

6 子育て

- ★ (1) 区の子育て環境

7 災害時の備え

- (1) 防災への対処
- ★ (2) ハザードマップの認知度
- ★ (3) 在宅避難推奨の認知度
- (4) 水や食料の備蓄について
- (5) 非常用電力の備蓄について
- (6) 携帯用トイレの備蓄について

8 地域コミュニティ

- ★ (1) 地域活動への参加経験・参加意向

9 文化活動

- ★ (1) 区内の文化資源の認知度

10 多文化共生

- ★ (1) 区が多文化共生社会への進捗状況
- (2) 外国人の地域活動への参加の進捗状況
- (3) 区内の外国人への偏見や差別の改善状況

11 健康づくり

- ★ (1) 1日の歩行時間

12 スポーツ

- ★ (1) この1年間に行ったスポーツや運動の回数
- (2) スポーツの生活の質向上への役立ち度
- (3) スポーツの新たな交流への貢献度
- (4) スポーツの地域の活性化への役立ち度
- (5) ユニバーサルスポーツの関心度

13 交通

- ★ (1) 区交通手段の満足度
- (2) 自転車利用頻度
- (3) 主な自転車利用用途
- (4) 歩行時の自転車との接触有無

14 みどり

- ★ (1) みどりを守り増やすために区に取り組んでほしいこと

15 ふるさと納税

- (1) 「世田谷区民が世田谷区にふるさと納税ができる」ことの認知度
- (2) 「ふるさと納税」の経験
- ★ (3) 返礼品に関する区の姿勢について
- (4) 「ふるさと納税」による区民税の減収額の認知度
- (5) 区民税の減収状況の認知経路

16 せたがやPay

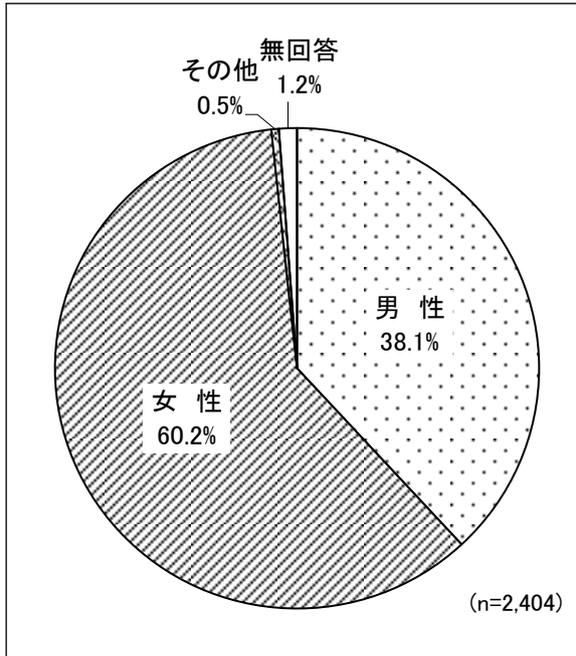
- ★ (1) せたがやPayの認知・利用度
- (2) せたがやPayを利用しない理由

グラフの見方

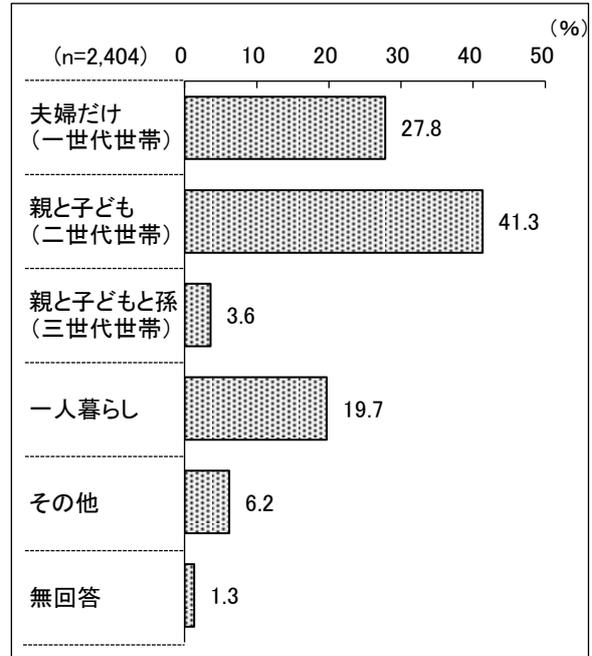
- 1 (複数回答) と記述されたもの以外は、選択肢を1つだけ選ぶ設問です。
- 2 小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならないものがあります。
- 3 複数回答の設問については、合計が100.0%を超えることがあります。
- 4 グラフ中のnは、設問の回答者数を表します。

回答者の属性

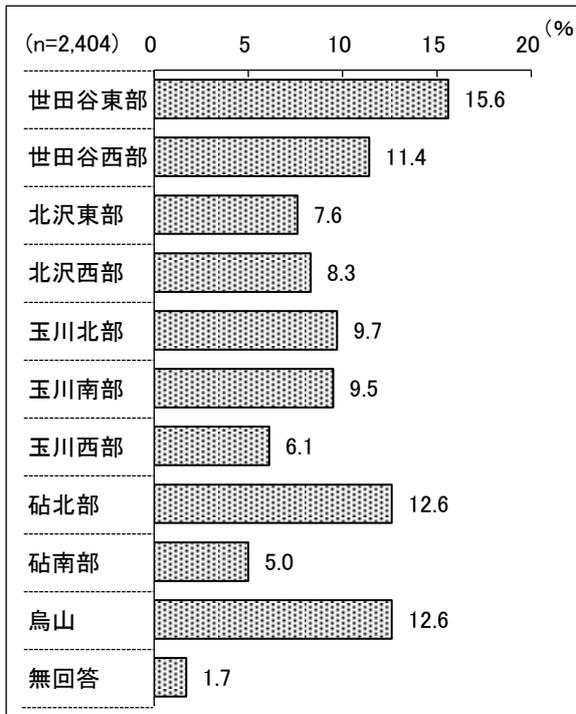
(1) 性別



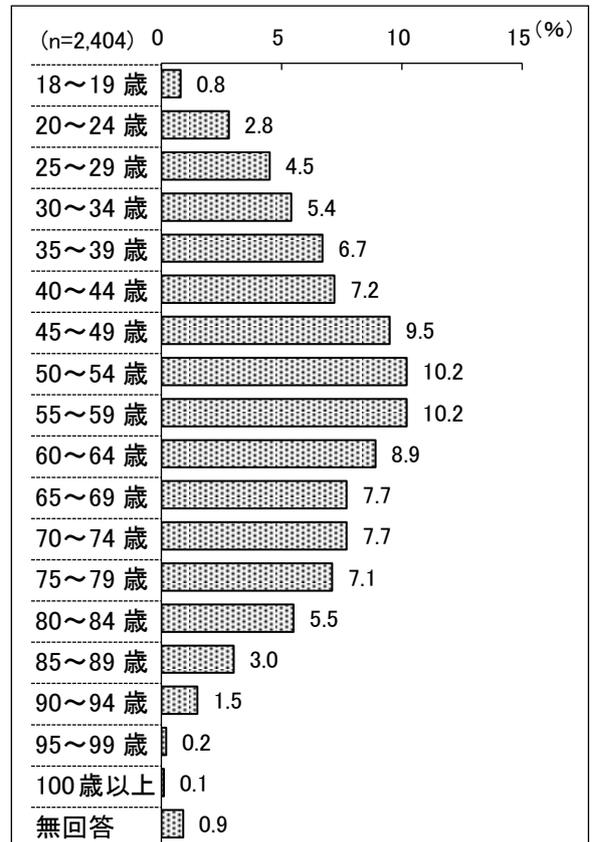
(2) 世帯構成



(3) 居住地区

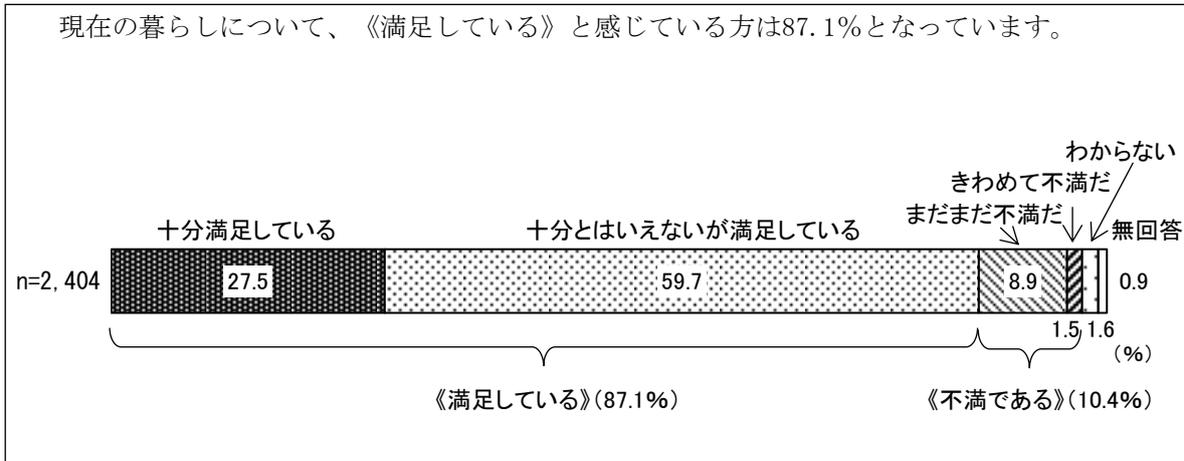


(4) 年齢

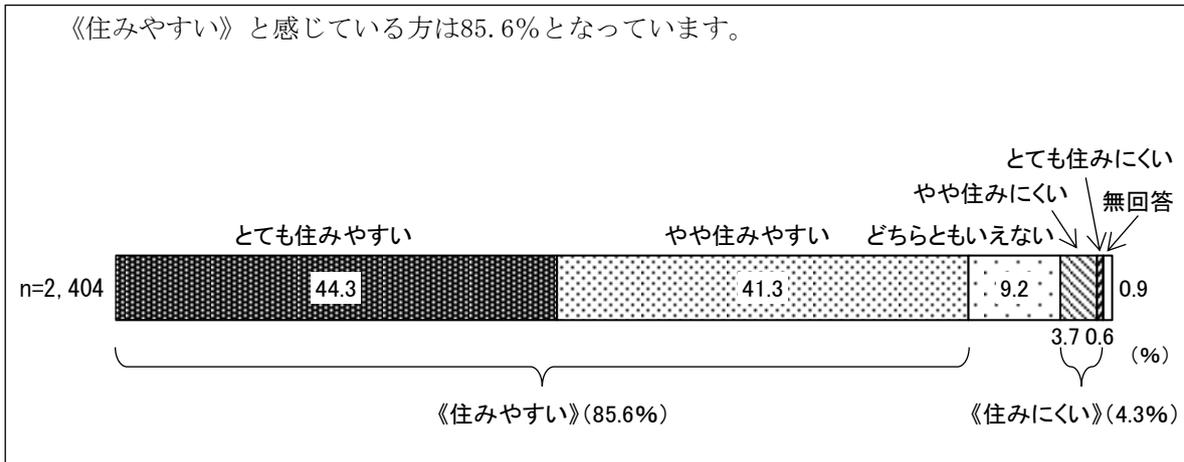


1. 定住性

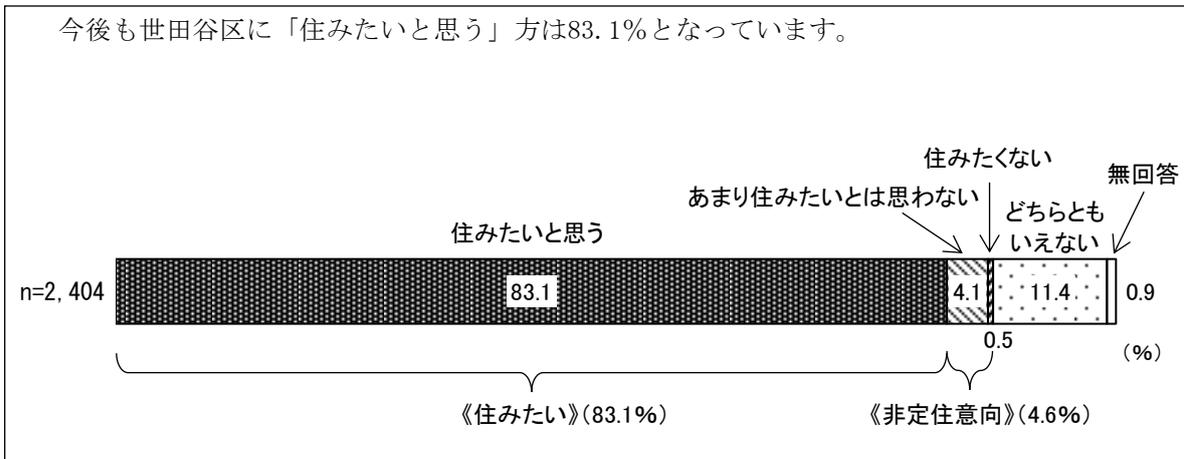
●暮らしの満足度



●住みやすさ

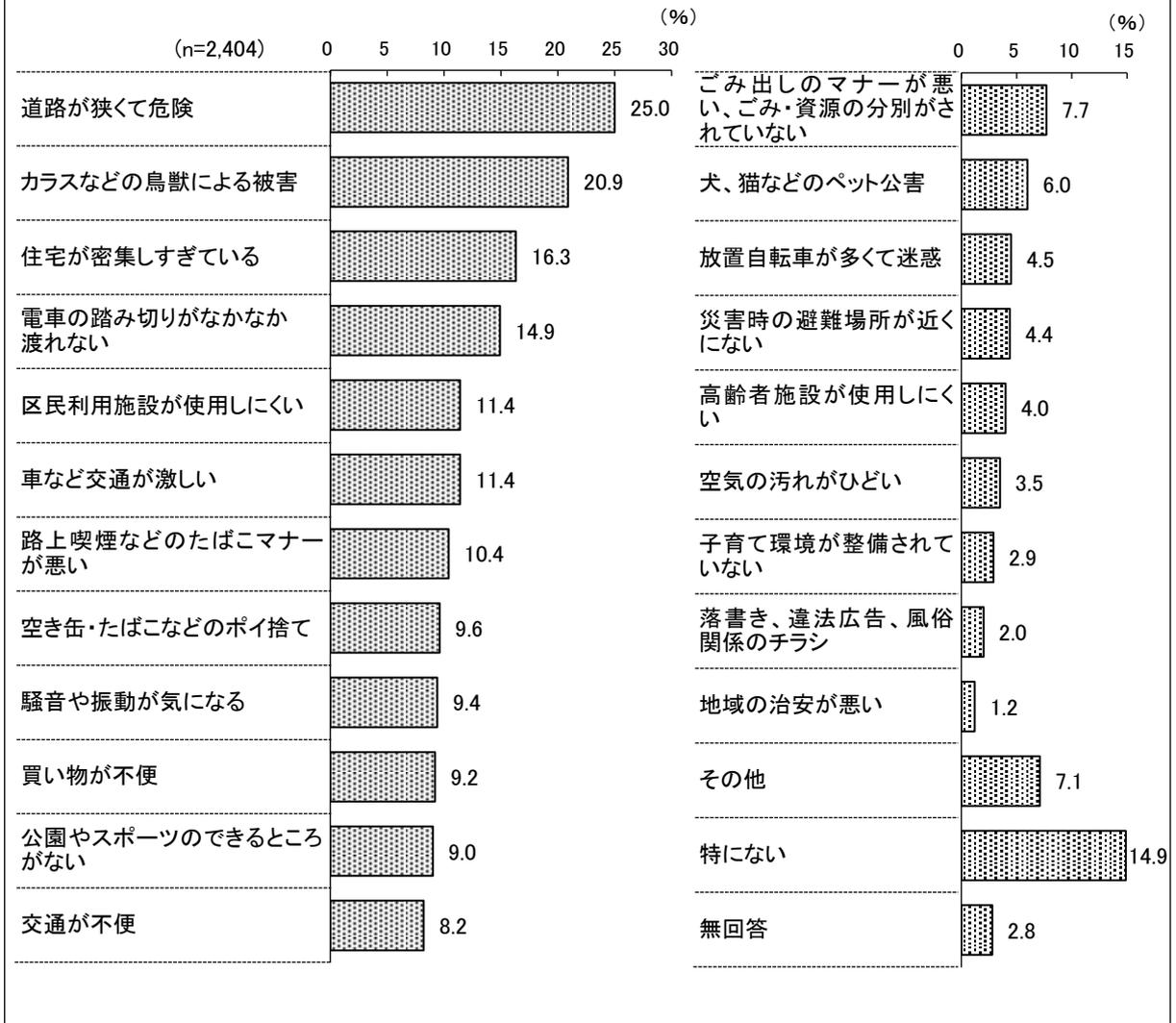


●定住意向



●地域における日常生活での困りごと（複数回答）

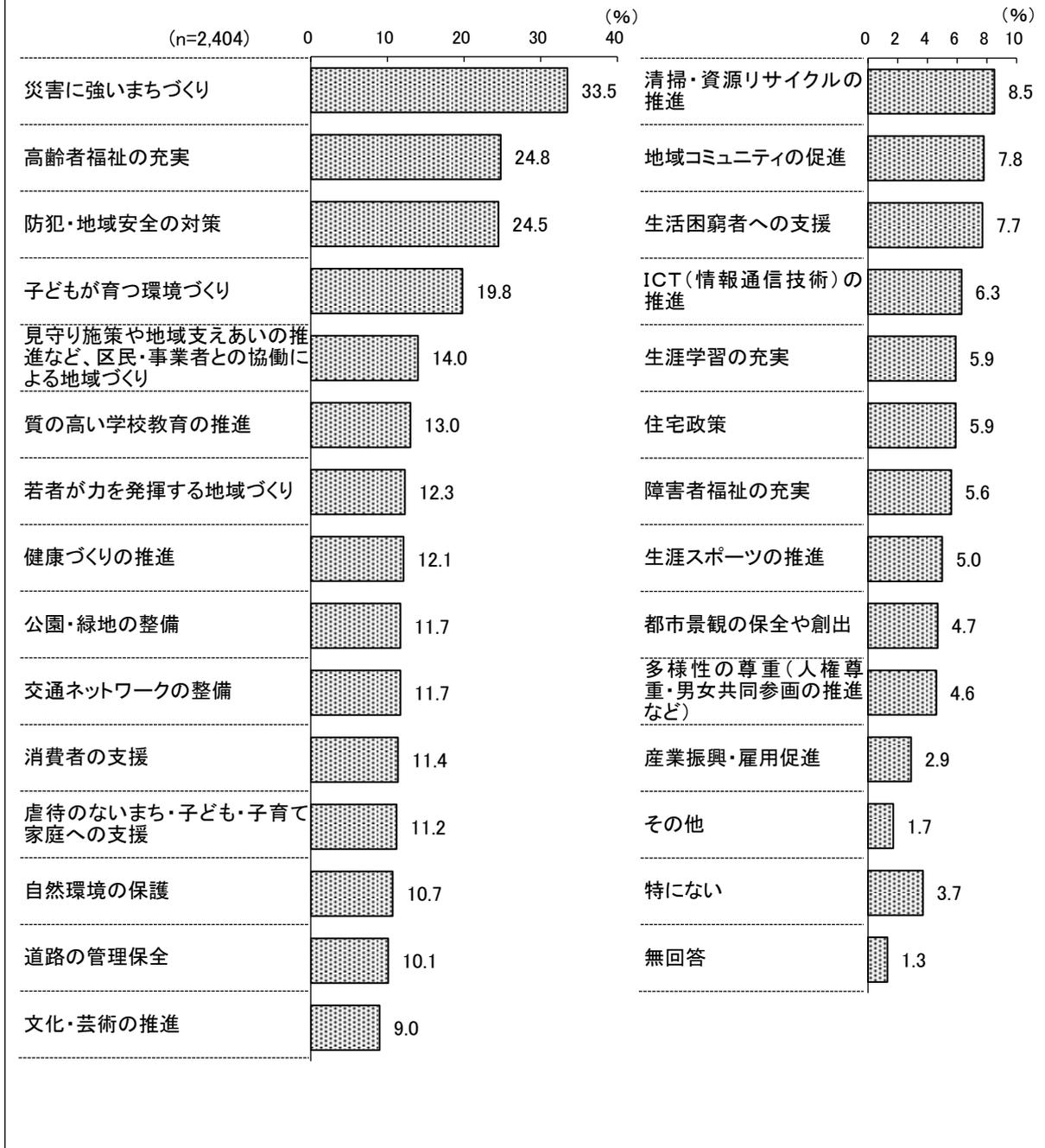
「道路が狭くて危険」が25.0%で最も高く、以下、「カラスなどの鳥獣による被害」、「住宅が密集しすぎている」などと続いています。



2. 区政

●区が積極的に取り組むべき事業（複数回答）

「災害に強いまちづくり」が33.5%で最も高く、以下、「高齢者福祉の充実」、「防犯・地域安全の対策」などと続いています。

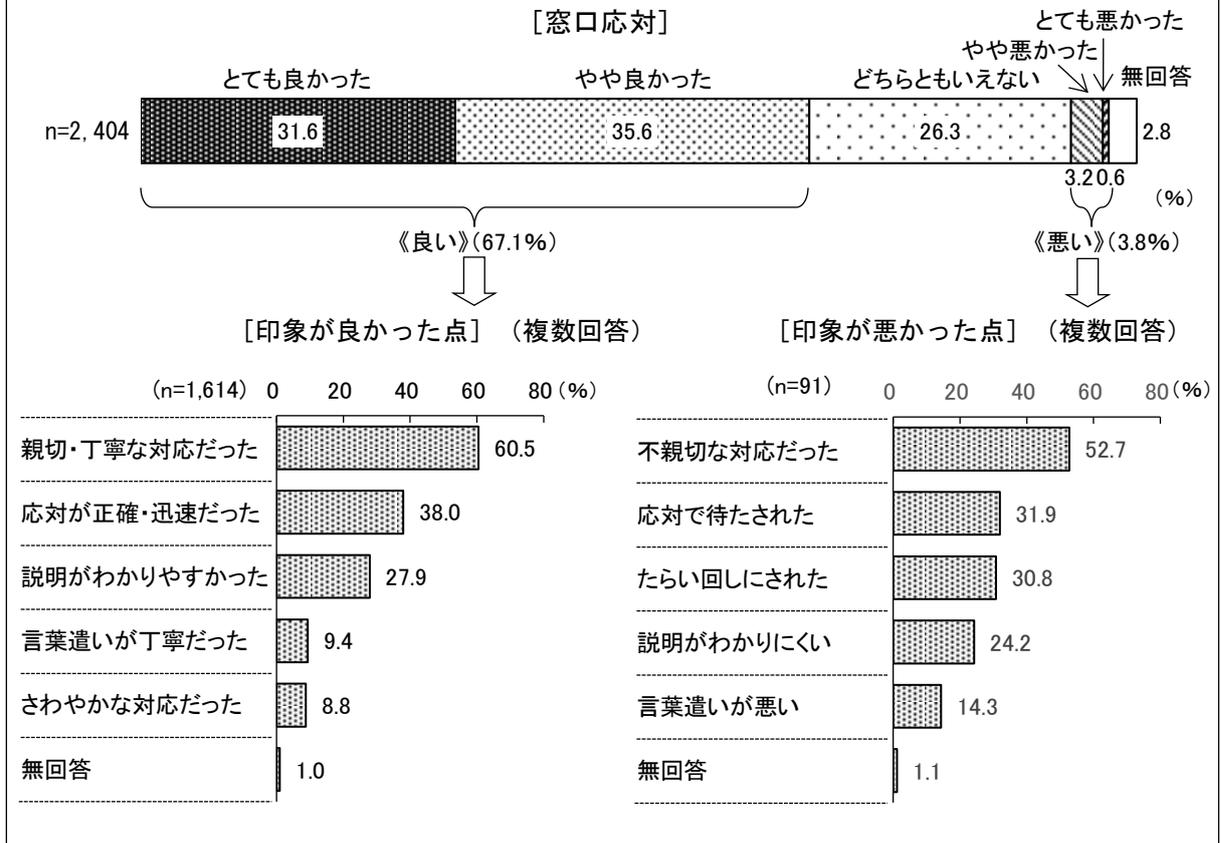


3. 職員応対

●窓口応対と印象が良かった点・悪かった点

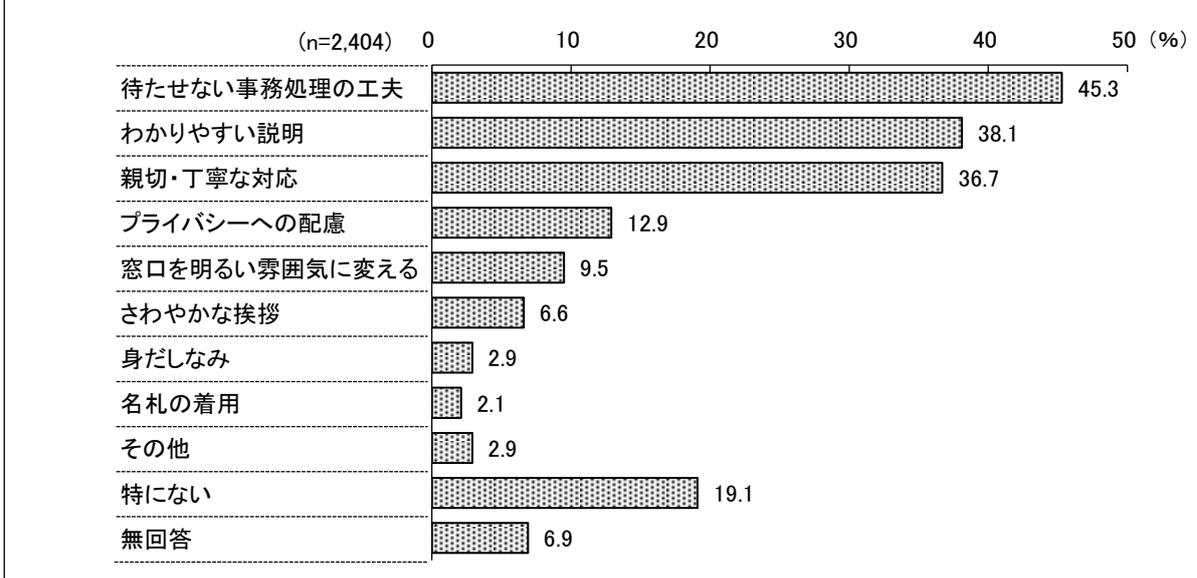
窓口応対は67.1%の方が《良い》と感じています。

親切・丁寧な応対だったかどうか、評価のポイントになっています。



●職員応対での注意点 (複数回答)

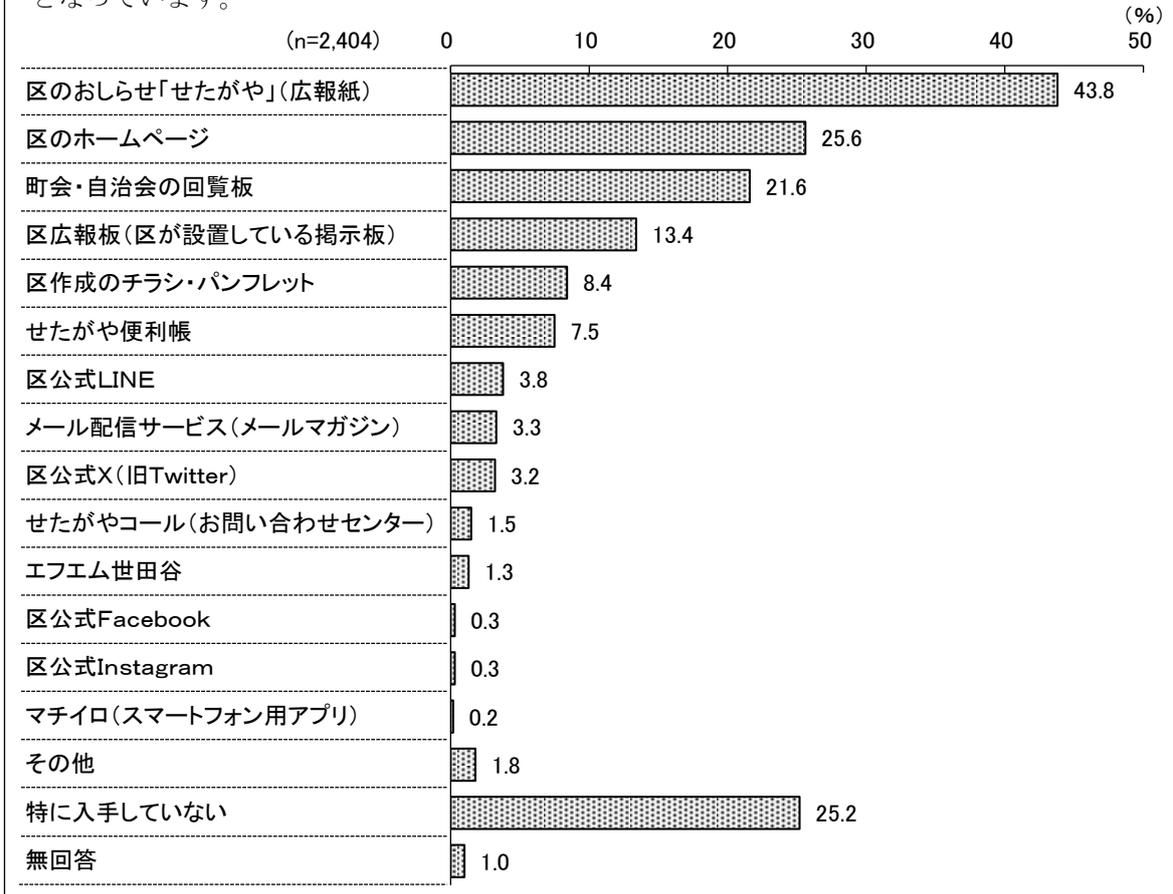
「待たせない事務処理の工夫」が45.3%で最も高く、以下、「わかりやすい説明」、「親切・丁寧な対応」などと続いています。



4. 広報

●区取り組みや身近な情報の入手経路（複数回答）

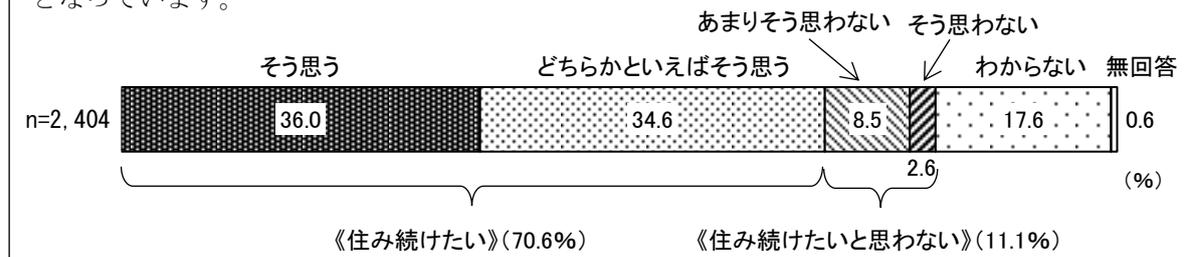
区取り組みや身近な情報の入手経路を聞いたところ、「区のおしらせ「せたがや」（広報紙）」が43.8%で最も高く、以下、「区のホームページ」、「町会・自治会の回覧板」、「区広報板（区が設置している掲示板）」などと続いています。一方、「特に入手していない」は25.2%となっています。



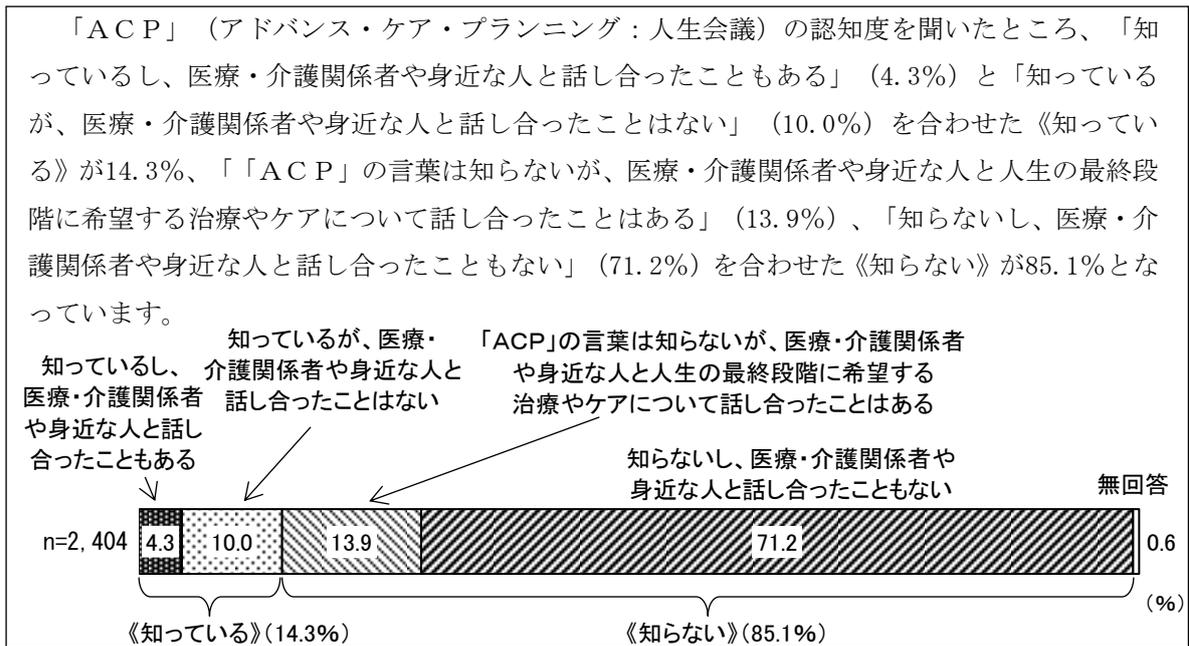
5. 福祉と医療

●介護や医療必要時の居留意向

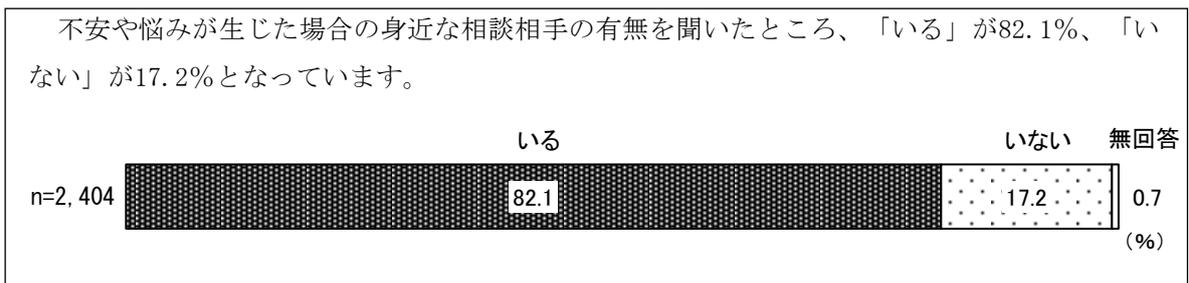
介護や医療必要時の世田谷区への居留意向を聞いたところ、「そう思う」（36.0%）と「どちらかといえばそう思う」（34.6%）を合わせた《住み続けたい》が70.6%、「あまりそう思わない」（8.5%）と「そう思わない」（2.6%）を合わせた《住み続けたいと思わない》が11.1%となっています。



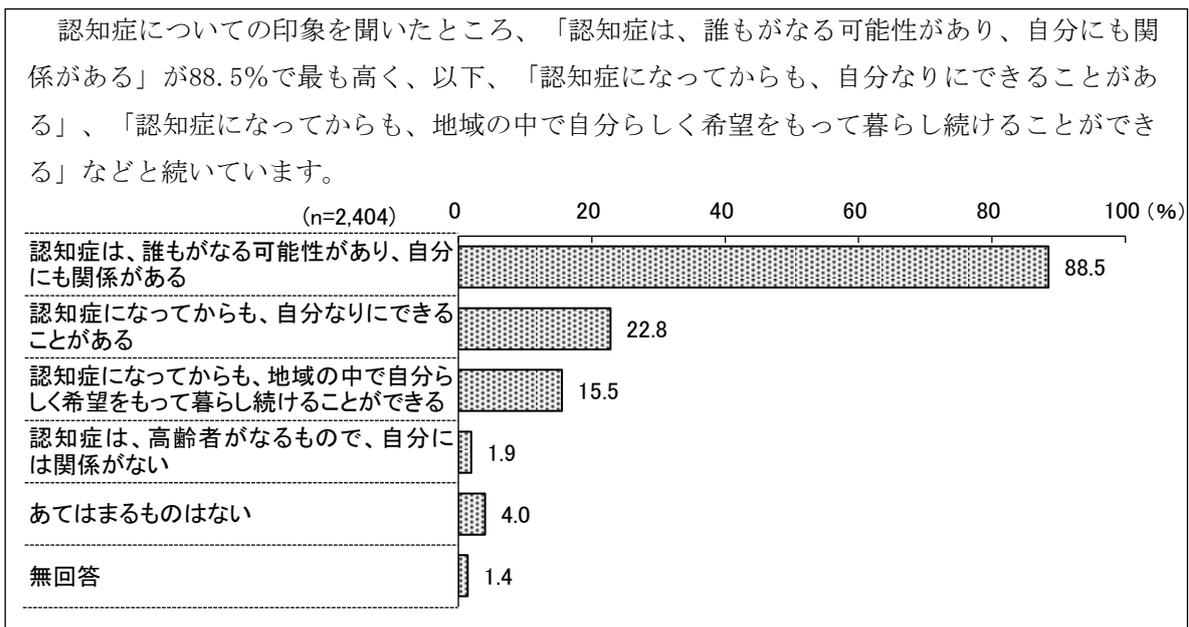
●「ACP」（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）の認知度



●身近な相談相手の有無



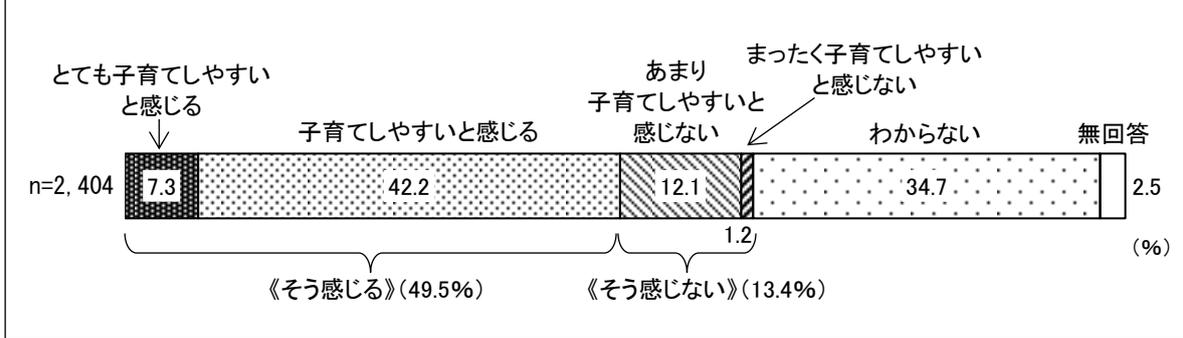
●認知症についての印象（複数回答）



6. 子育て

●区の子育て環境

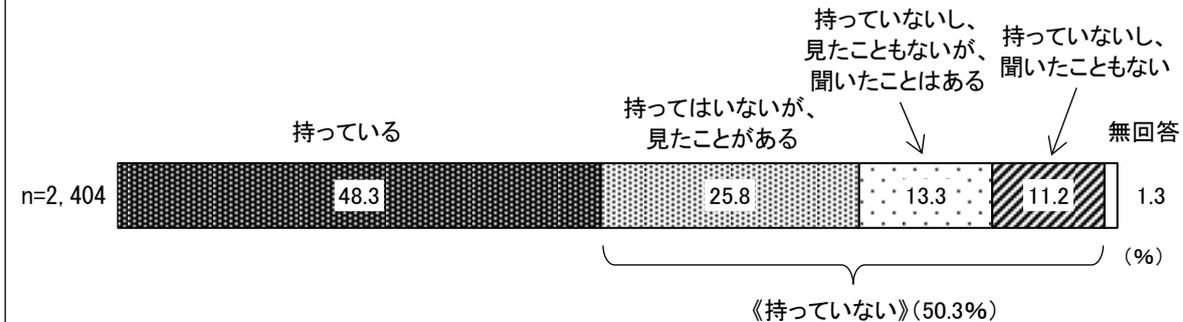
区の子育て環境について聞いたところ、「とても子育てしやすいと感じる」(7.3%)と「子育てしやすいと感じる」(42.2%)を合わせた《そう感じる》が49.5%、「あまり子育てしやすいと感じない」(12.1%)と「まったく子育てしやすいと感じない」(1.2%)を合わせた《そう感じない》が13.4%となっています。



7. 災害時の備え

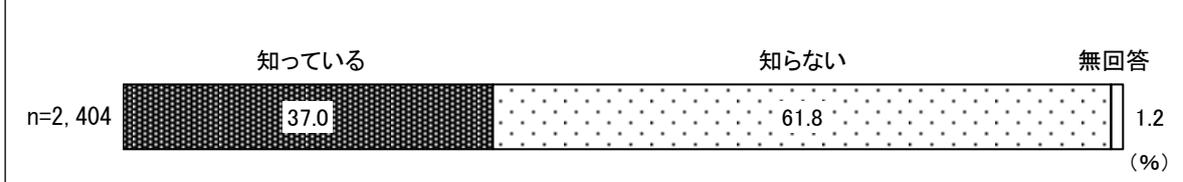
●ハザードマップの認知度

ハザードマップの認知度を聞いたところ、「持っている」が48.3%、「持っていないが、見たことがある」(25.8%)と「持っていないし、見たこともないが、聞いたことはある」(13.3%)と「持っていないし、聞いたこともない」(11.2%)を合わせた《持っていない》が50.3%となっています。



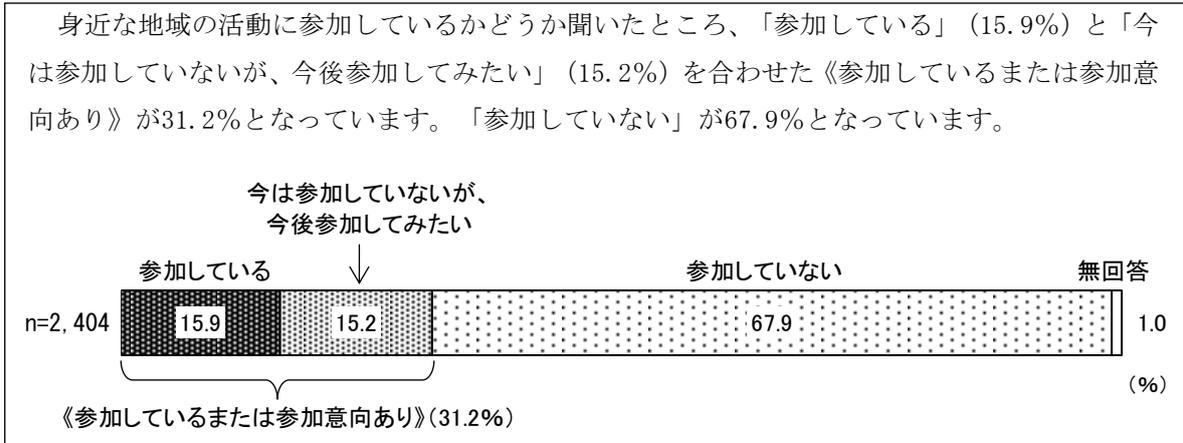
●在宅避難推奨の認知度

区が在宅避難を推奨していることの認知度を聞いたところ、「知っている」が37.0%、「知らない」が61.8%となっています。



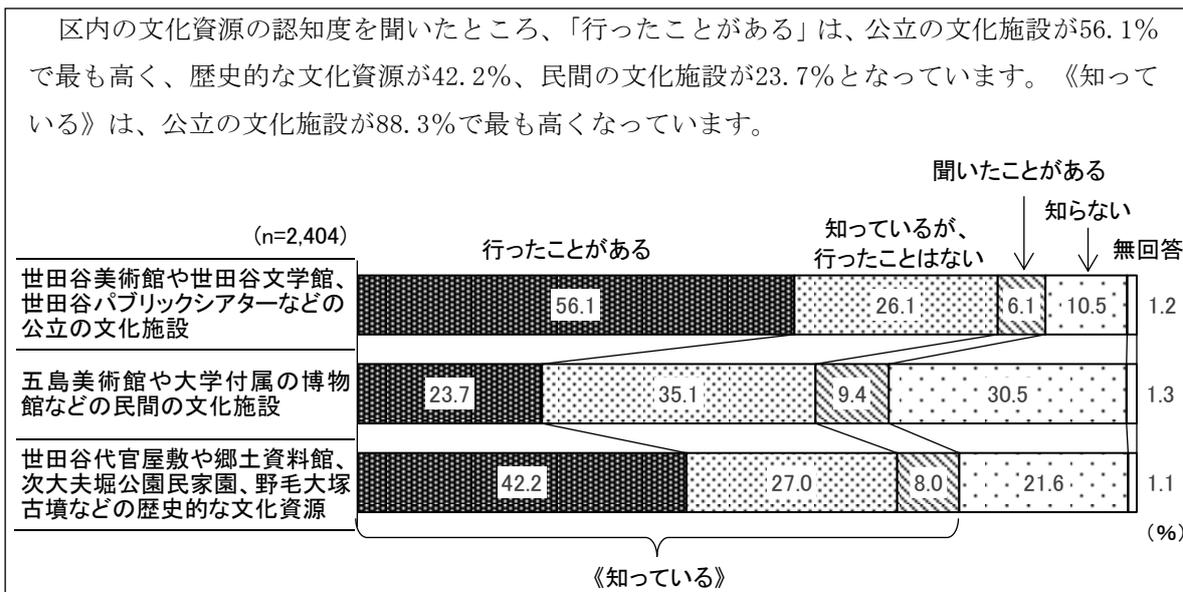
8. 地域コミュニティ

●地域活動への参加経験・参加意向



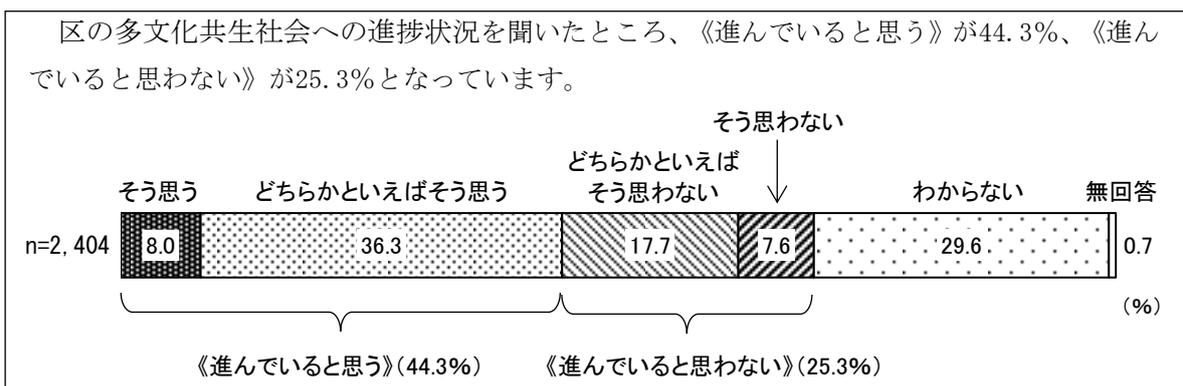
9. 文化活動

●区内の文化資源の認知度



10. 多文化共生

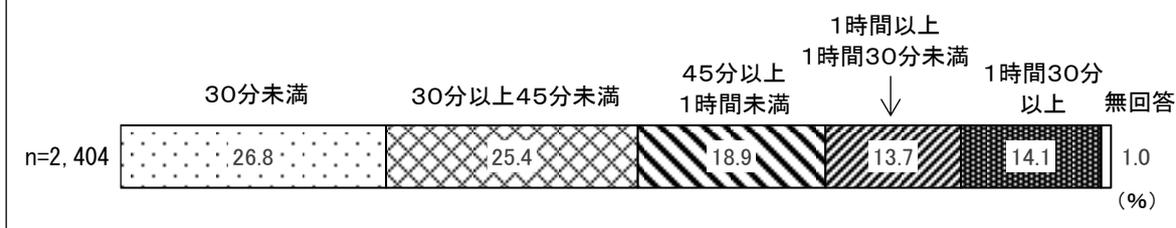
●区が多文化共生社会への進捗状況



11. 健康づくり

● 1日の歩行時間

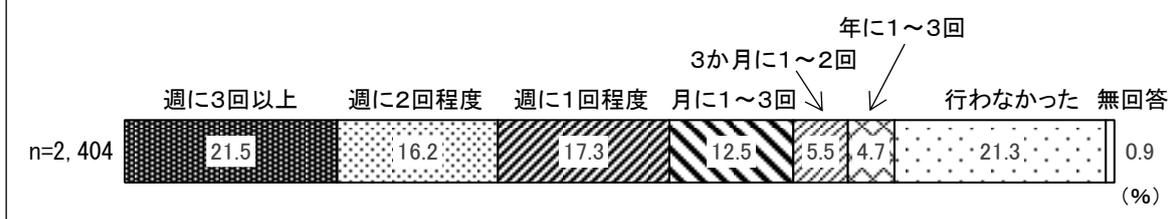
1日の歩行時間を聞いたところ、「30分未満」が26.8%で最も高く、次いで「30分以上45分未満」が25.4%となっています。以下、「45分以上1時間未満」、「1時間30分以上」、「1時間以上1時間30分未満」と続いています。



12. スポーツ

● この1年間に行ったスポーツや運動の回数

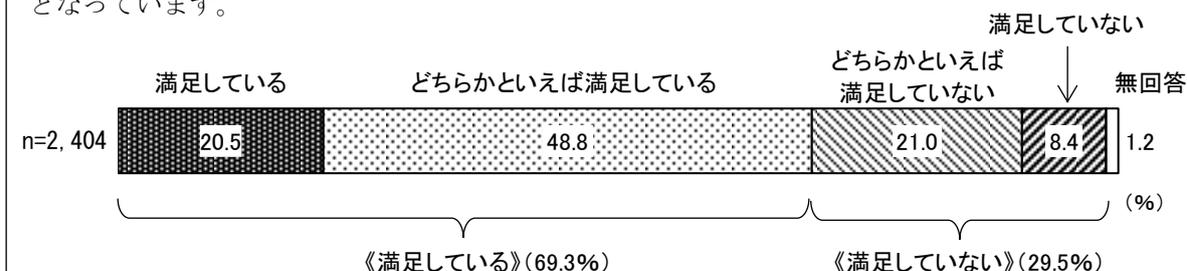
この1年間に行ったスポーツや運動の回数を聞いたところ、「週に3回以上」が21.5%で最も高く、次いで「行わなかった」が21.3%となっています。以下、「週に1回程度」、「週に2回程度」、「月に1～3回」などと続いています。



13. 交通

● 区の交通手段の満足度

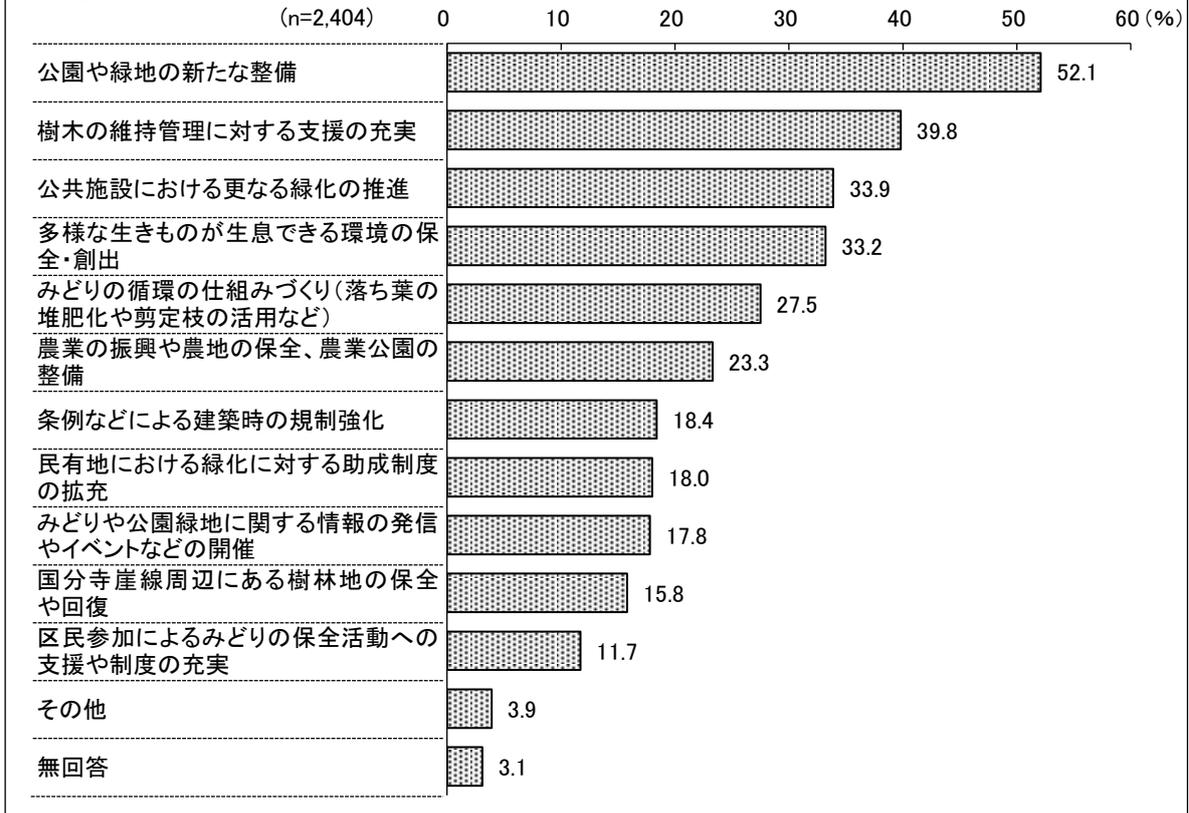
区の交通手段の満足度について聞いたところ、「満足している」(20.5%)と「どちらかといえば満足している」(48.8%)を合わせた《満足している》が69.3%、「どちらかといえば満足していない」(21.0%)と「満足していない」(8.4%)を合わせた《満足していない》が29.5%となっています。



14. みどり

●みどりを守り増やすために区に取り組んでほしいこと（複数回答）

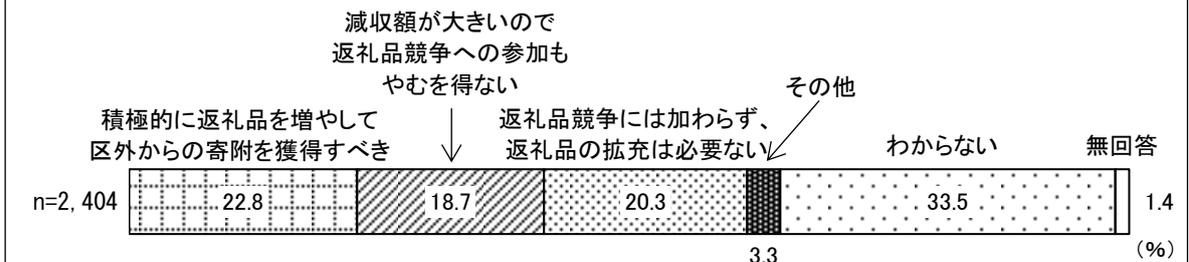
みどりを守り増やすために区に取り組んでほしいことを聞いたところ、「公園や緑地の新たな整備」が52.1%で最も高く、以下、「樹木の維持管理に対する支援の充実」、「公共施設における更なる緑化の推進」、「多様な生きものが生息できる環境の保全・創出」などと続いています。



15. ふるさと納税

●返礼品に関する区の姿勢について

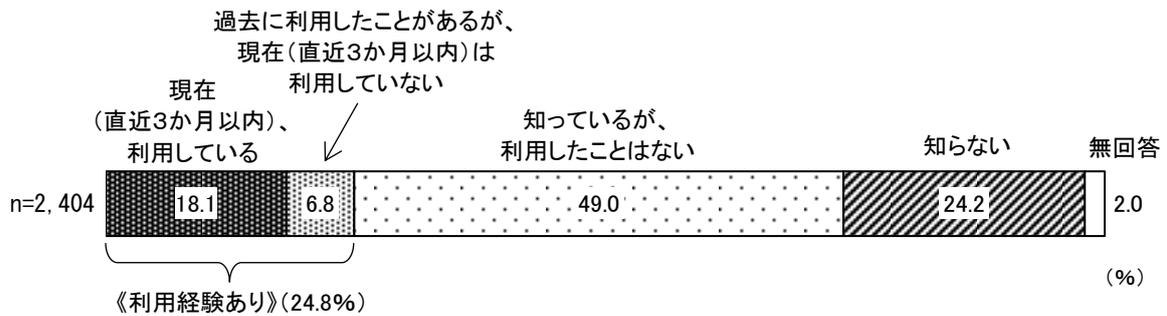
返礼品に関する区の姿勢について聞いたところ、「わからない」が33.5%で最も高くなっています。以下、「積極的に返礼品を増やして区外からの寄附を獲得すべき」、「返礼品競争には加わらず、返礼品の拡充は必要ない」、「減収額が大きいので返礼品競争への参加もやむを得ない」などと続いています。



16. せたがや Pay

●せたがや Pay の認知・利用度

せたがやPayの認知・利用度を聞いたところ、「知っているが、利用したことはない」が49.0%で最も高くなっています。「現在（直近3か月以内）、利用している」（18.1%）と「過去に利用したことがあるが、現在（直近3か月以内）は利用していない」（6.8%）を合わせた《利用経験あり》は24.8%となっています。



世田谷区民意識調査2024（概要版）

令和6年9月発行（広報印刷物登録番号 No. 2277）

発行 世田谷区政策経営部広報広聴課

東京都世田谷区世田谷4丁目21番27号

電話：03（5432）2014

ファクシミリ：03（5432）3001

実施 株式会社アダムコミュニケーション

東京都杉並区上高井戸1丁目8番17号 ブライトコアビル新館6階

電話：03（6847）5757

ファクシミリ：03（6847）5756